

新宮山彦ぐるーぷ第2219回

行仙宿巡回整備、正月飾りの片付け等

◇実施日 1月22日(日) 晴

◇参加者 沖崎吉信、生熊敏男・千満子、大江加予子、畑林清子、西克、高階鈴子・美根子、梶野照雄、瀧本昭太郎
10名

今年初めての行仙宿巡回である。正月飾りの片付け以外に大きなテーマは無かったが、我々ぐるーぷのメインの山小屋であり、持経宿、平治宿と併せ月一回の巡視は管理者として必要だろう。



登山口を出る

ガソリンや水を荷揚げ

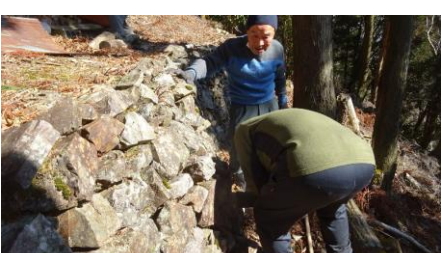
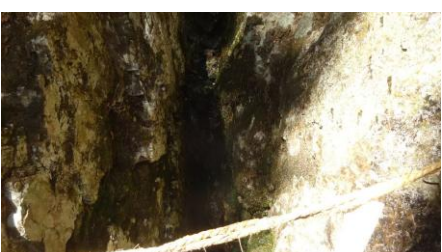
崩れた石垣

午前9時、役場でゲートのキーを借用し、9時半過ぎに登山口に着く。途中の日陰に残雪が見られ、道路の凍結を心配したが、国道、

林道に雪は無く、凍結も無かった。伯母峰トンネルを越えてきた梶野君も、雪は無かったと話していた。

第2ベンチ上の展望所から見える大台ヶ原にも、白いものは見られない。行仙岳や笠捨山にも雪は残っていない。空には雲一つなく、素晴らしい快晴の景色が広がっている。

行仙宿の管理棟下の石垣が3m位の幅で崩れている。以前に1mほど崩れていたのを積み直した個所だ。



お正月飾りを撤去

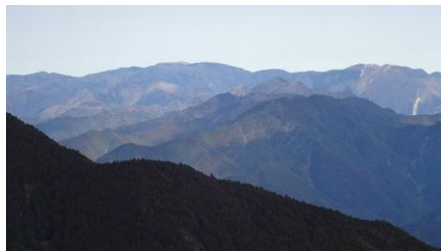
水場の流れは少ない

石垣の修復

小屋に全員が集まることなく、到着したのからそれぞれの作業を始める。梶野、西の2人が水場の点検に、生熊、瀧本の2人は崩れた石垣の補修を始める。沖崎は管理棟の点検と平治宿用の塗装資材を集める。女性陣はストーブに火を入れ、小屋とお堂、管理棟の清掃を始める。梶野君が発電機を起動してくれていたの、掃除機も使って綺麗に掃除した。

11時半頃に水場班も戻り昼食を摂る。水場はかろうじて流れては

いるが、給水できるほどの流れではないそうだが。ポリタンクに残っている水は全て氷になっているので、2リッターのペットボトルを2本持ってきてラーメンやコーヒー用にした。



本日の参加者

大台ヶ原にも雪は無い

下山

まだお正月気分なので小屋でゆっくりして、と思っていたが来てみると次々と用事が増える。12月25日の迎春準備の際、便槽のパイプが詰まっているらしく、水を流しても排水口からは流れ出なかった。生熊さんが煙突掃除用の器具で掃除してみる、と倉庫から持ち出してきた。朝プラス1℃だった気温も4℃迄上昇して凍っていたポリタンクも少し溶けかけた。この水をパイプの口から流してみたら排水口から水が流れ出した。詰まっていたのではなさそうだが、煙突掃除の道具は使わずに済んだ。

この後はマキの補充や不用品の整理を行い、お堂で勤行して下山した。

今日久しぶりに参加してくださった瀧本さんは、「いよいよ数日

後に75歳となり、後期高齢者の仲間入りをする。これを節目として今後は「感謝」の気持ち忘れず、長年親しんだ山への恩返しを念頭に活動したい。」とお話しされ、感銘を受けた。

皆さん本年もよろしく！

ポチポチ無理せず、安全第一で行きましょう。

(記：沖崎)

行動タイム

補給路登山口 09:36→10:37 行仙宿 13:17→14:08 補給路登山口